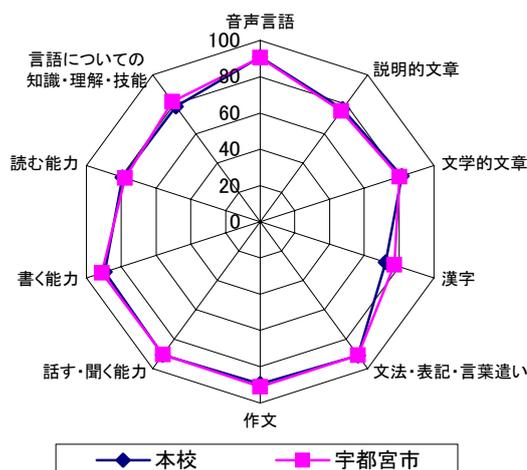


宇都宮市立古里中学校第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	90.9	90.6
	説明的文章	76.8	75.5
	文学的文章	81.6	80.2
	漢字	72.2	77.2
	文法・表記・言葉遣い	91.3	91.0
	作文	89.5	90.9
観点別	話す・聞く能力	90.9	90.6
	書く能力	89.5	90.9
	読む能力	79.2	77.8
	言語についての知識・理解・技能	78.6	81.8



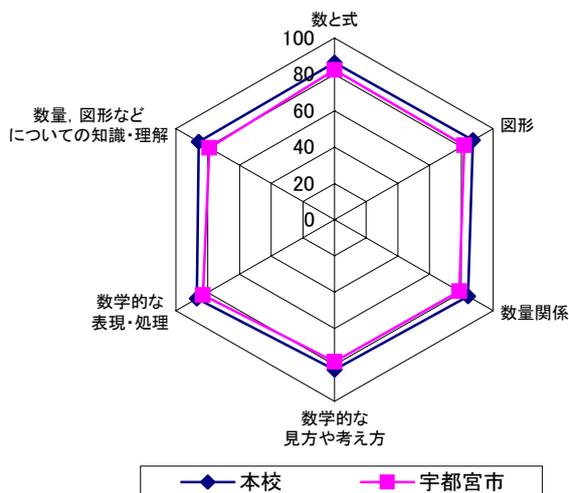
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (90.9%)	・宇都宮市の平均と比し正答率が0.3%高く、概ね平均的な状況である。聞き取るべき内容は大体理解できているが、自ら発言することは不得手な傾向にある。	・定期テスト時のみの指導ではなく、機会を捉え聞き取りテストなどを頻繁に実施し、話の内容を的確に捉えるための訓練の時間を多くしたい。また誰にでも答えられる問題の発問の機会を多く設け、発言することに対する抵抗感を無くしていくよう指導したい。
説明的文章 (76.8%)	・宇都宮市の平均と比し正答率が1.3%高いが正答率が80%に達していない。意見の記述に関しては約9割の正答率であるがそれに比し文章に即したな内容の理解の問題は約5割の正答率である。	・文章の内容を読み取る能力の指導が必要と思われる。機会を捉え文章の内容を理解する能力を高める指導したい。また説明文の文書構成について指導したい。
文学的文章 (81.6%)	・宇都宮市の平均に比し1.4%高い、また正答率も80%を超えている。ただ作文の自分の意見の記述が宇都宮市の平均に比し1.7%低い。	・指示語の問題の理解度が若干低いのは内容の読み取り能力が劣ると思われるので、今後練習問題の機会を多く設け指導していきたい。また主題を理解する際、どうすれば主題が確実に捕らえられるかの指導も充実したい。
漢字 (72.2%)	・漢字の理解度は宇都宮市に比し5%低い。過去学習した漢字の正答率が低い。特に2年生・3年生で学習した漢字の書きの正答率が2年生の漢字の書きは13%、3年生の書きが10.1%と低く、全体の漢字の理解度を下げる要因になっている。	・毎時間の開始時間に漢字テストを実施しているが、なかなか成果に結びついていない、今後もマンネリ化することなく、斬新な方法を開発し、楽しく学び定着できるよう指導したい。
文法・表記・言葉遣い (91.3%)	・宇都宮市の正答率に比し0.3%高い、また正答率も91.3%で高い正答率を獲得している。	・機会を捉え、文法的質問をしていることが比較的文法が苦手な生徒が多いのに比し文法に関する興味を喚起できていると思う。今後も機会を捉え文法・表記・言葉遣いに関する興味がわくような質問・説明を取り入れ指導していきたい。
作文 (89.5%)	・宇都宮市の平均に比し1.4%低い約90%近い正答率を得ているまた昨年に比し3%程度正答率が上昇している。	・機会を捉え作文・主張文等を提出させるようにしている。添削指導も誤字脱字・表現法・原稿用紙の適正な使用法・場に見合った適正な漢字の使用法・主題の表現法等中身の充実した添削指導をさらに徹底し指導していきたい。

宇都宮市立古里中学校第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	86.5	82.4
	図形	87.3	81.8
	数量関係	84.1	78.7
観点別	数学的な見方や考え方	82.5	78.3
	数学的な表現・処理	86.9	82.9
	数量、図形などについての知識・理解	85.6	78.8



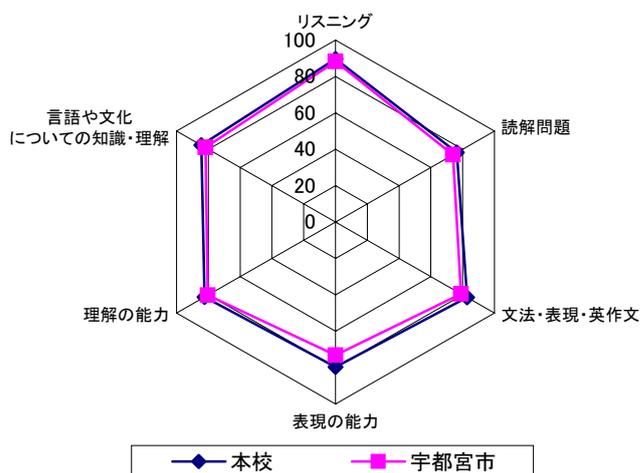
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (86.5%)	宇都宮市と比べると+4.1%である。観点別にみてもどの観点においても80%以上を維持しているのである程度の定着がなっていると考えられる。	基本的な計算能力は従来どおりしっかりと行う必要があるが、同時に見方や考え方を問う文章題などの問題に多く触れさせ、さらに応用力の強化を図る。2次方程式など難しい内容を根気よくしっかりと取り組むようにしていきたい。
図形 (87.3%)	数学の分野ではこの領域を得意とする生徒は多く、宇都宮市の平均同様高いポイントを示している。	3年の図形の分野という「相似な図形」「三平方の定理」である。高校の入試問題でも相似や三平方の定理を利用した空間図形などの問題が出題されることが多いので幅広い応用力を身につけさせていきたい。
数量関係 (84.1%)	宇都宮市の平均より+5.4%であり、高い値を示している。例年この領域は苦手意識が高かったが改善しつつあることを示している。	「2乗に比例する関数」だけでなく2年の「一次関数」を含む応用問題に慣れることで「関数」に関する苦手意識を払拭していきたい。

宇都宮市立古里中学校第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	89.6	88.2
	読解問題	76.4	73.9
	文法・表現・英作文	82.9	79.0
観点別	表現の能力	79.6	73.1
	理解の能力	82.4	80.4
	言語や文化についての知識・理解	84.5	82.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (89.6%)	正答率は宇都宮市の平均に比べ+1.4%である。ALTとの会話などに意欲的に取り組んでいるので、ネイティブの発音を聞き取るのは得意な生徒が多く、ポイントを絞って聞き取る生徒が多い。	英語による授業やALTとの対話活動からイントネーションや音の連結などを学び、英文を聞き取る力を付けていきたい。また、インタビュー活動を通して会話文特有の表現を含む既習事項を繰り返し練習し、定着を図りたい。
読解問題 (76.4%)	正答率は宇都宮市の平均に比べ+2.5%であるが、長文の読み取りを苦手とする生徒が多い。	普段から教科書の文中の指示語を明確にし、文の大まかな内容を把握する活動を多く取り入れたい。また、会話文特有の表現を繰り返し学習することで定着を図りたい。
文法・表現・英作文 (82.9%)	正答率は宇都宮市の平均に比べ+3.9%である。特に表現においては昨年に比べ大きく改善されている。	身のまわりのことや興味を持っていることを題材にするなど苦手意識をなくすような課題を設定し、英文で表現する機会を多く設けたい。また、対話文特有の表現や語順になれるよう、基礎となる文法をしっかり定着させていきたい。